



# 西小だより

2月号

令和8年2月2日

## ◆ 新たな気持ちでがんばります ◆

校長 藤田 守弘

少しずつ日差しが長くなり、春の息吹が感じられる季節となってきました。冬の間、厳しい寒さに耐え忍んできた木々も、芽出しの兆しが見え始め、子どもたちの様子からも活発に教育活動に取り組む姿が伺えます。

暦の上では、2月4日は「立春」です。立春は暦の上で春が始まる季節のことで、節分は冬の終わりの日になり、翌日から新しい季節が始まる区切りとなります。そのため、邪気や悪いものを落として、新しい年に幸運を呼び込むことを目的に、節分という行事が日本各地で行われてきました。節分では豆をまいて厄を払いますが、この豆まきが行われるようになったのは、室町時代頃と言われ、豆をまいて病気などの厄災を追い払う習慣が現代でも続いています。

さて、2月になり、学校では今年度のまとめを行っているところです。各学年は、各教科の学習を進めるとともに、6年生を送る会に向けて準備もしており、慌ただしい毎日を送っています。6年生にとっては、これから「小学校生活最後の〇〇」が重ねられていくことになります。これまで、友だちや先生と積み上げてきたものを大切にしながら、一つひとつの活動を真剣に楽しみ、これから先の未来へとつなげていってほしいと願っています。1から5年生は、6年生の最高学年としてがんばる姿から、「自分たちも〇〇がんばろう」をたくさん見つけていってほしいなと思います。これらが終わると、学校行事の中で最も重要な卒業式が控えております。これまでの学校教育活動を振り返り、令和7年度が充実した年となるよう気を引き締めて取り組むとともに、令和8年度のスタートがスムーズに切れるよう準備を進めてまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

本年度もあと2か月となりました。職員一同、子どもたち一人ひとりの思いを大切に、1年間の締めくくりがしっかりできるように支援してまいります。ご家庭でも引き続き、お子さんへの励ましをお願いいたします。

[学校教育目標]

# すべての子どもたちが主体的に学び続け 人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

思いやりのある子ども

## なわとび大会



1月29日(木)になわとび大会を行いました。異学年の児童(1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生)と一緒に行うことで、練習の時から互いにより刺激を受けている様子が見られました。本番でも、互いに数を数えたり応援したりすることで練習以上の記録を残すことができた児童が多くいました。また、長縄跳びでは、学級全員で目標回数をめざして挑み、がんばりをみんなで喜び合う姿が見られました。ご観覧ありがとうございました。

## 土砂災害避難訓練

1月21日(水)に土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。本校講堂西側にある山が土砂災害特別警戒区域に指定されています。「大雨により土砂災害が発生する恐れが高まった」ことを想定し、1年生となかよし学級は、2階への垂直避難、2~6年生は校舎東側への水平避難を行いました。子どもたちは、放送の指示をよく聞き、静かに落ち着いて避難することができまし

## 授業参観ありがとうございました



1月20(火)は、多くのご参観ありがとうございました。授業参観アンケートにもご協力いただきありがとうございました。児童の話の聞き方や聞く時の姿勢、友だちとの話し合いの様子等の児童が学びに向かう様子、そして、号令の挨拶や教員の働きかけに関する事等、多くのお気づきをいただきました。特に、西小にこここプロジェクトの「話している人の方に、体を向けて話を聞こう」に関する内容について、望ましい姿が見られたというご意見は子どもたちだけでなく教職員にとっても励みになります。いただいたご意見を生かしながらよりよい学習環境、授業づくりに向けて取り組んでまいります。2月18日の授業参観の際にもアンケートを実施しますので、ご意見をよろしく願います。

保護者や地域の方が感じられた子どもたちのすてきな姿を教えてください。学校昇降口に掲示させていただきます。

